

第7回日中著作権会議に関する報告

平成24年1月20日
文化庁長官官房国際課

1. 日時:平成23年9月8日(木)9:00~12:00
2. 場所:青島ダイナスティーホテル(中国:青島)
3. 出席者:(詳細別紙参照)
 - (1)日本側:文化庁長官官房 芝田政之 審議官 外3名
 - (2)中国側:国家版權局版權管理司 YU Cike 司長 外6名

4. 議事

【議題1】両国の著作権法改正に関する現状について

- ・中国側より、中国著作権法の第三次改正に係る取組状況について説明があり、今後著作権関係団体等200以上にアンケートを実施し、現状やニーズを把握し、草案作りを進めていく予定との説明があった。
- ・日本側より、昨年文化審議会著作権分科会で行ったデジタル・ネットワーク社会における著作権制度のあり方についての検討結果、現在検討中の著作権法の改正に係る主な内容及びAnti-Counterfeiting Trade Agreement(偽造品の取引の防止に関する協定(仮称):ACTA)の概要について説明を行った。

【議題2】中国における著作権侵害に対する特別行動の状況について

- ・中国側より、温家宝首相の指示のもと、平成22年10月から平成23年6月まで行われた知的財産権侵害行為の摘発及び模造品の製造・販売行為に係る摘発に関する特別行動の成果について説明があった。
- ・日本側より、特別行動の成果に感謝するとともに、著作権侵害コンテンツの摘発について引き続き効果的な対策を要請した。
- ・日本側の要請に対し、中国側より、現在、特別行動を定着させるためのメカニズムについて関係部署間で検討中であるとの説明があった。

【議題3】著作権分野に関する意見交換について

- ・日本側より、中国国内において音楽分野に係る著作権管理団体による適切な著作権使用料の徴収・分配が行われるよう、中国側に対応を要請した。
- ・中国側より、関係団体に対し引き続き指導していくとの回答があった。

【議題4】日中の著作権等に係る戦略的協力に関する覚書に基づく来年度の事業計画について

- ・日本側より、来年度日本で開催予定の第8回日中著作権会議にあわせて、日中の著作権関係団体同士による意見交換等を行う「日中著作権セミナー」(仮称)の開催を提案した。
- ・中国側より、当該セミナーについて、実務的には非常に有益であると考えており、対応について検討したいとの回答があった。

日中著作権会議 出張者

<日本文化庁>

芝田 政之 文化庁長官官房審議官

佐藤 透 文化庁長官官房国際課長

壹貫田剛史 文化庁長官官房著作権課課長補佐

木南 秀隆 文化庁長官官房国際課海外協力係長

<中国国家版權局>

YU Cike
Director General, Copyright Department, NCAC

Tang Zhaozhi
Deputy Director General, Copyright Department, NCAC

Deng Yuhua
Director, International Affairs Division, Copyright Department, NCAC

Duan Yuping
Director, Copyright Division, Copyright Department, NCAC

Hu Ping
Section Chief, International Affairs Division, Copyright Department, NCAC

Zheng Xiangrong
Section Chief, Copyright Division, Copyright Department, NCAC

Zhang Dejun
Section Chief, Enforcement Division, Copyright Department, NCAC